

■第3回 大阪狭山市公共施設再配置計画策定委員会での主な意見

日時：令和6年3月7日（木）15時00分～17時20分

委員：辻^{※1}、清水^{※2}、山村、陸野、津田、大塚、古城、菊屋（敬称略） ^{※1}委員長 ^{※2}副委員長

		委員からの主な発言等（一部、事務局の回答も）
1	総合管理計画の削減目標「延床面積10%削減」について	<ul style="list-style-type: none"> ・人口が減れば税収も減る、生活保護など社会福祉費用は増える。正しい数字を出すことは難しいが、将来的な税収の減少見込みなども考慮してはどうか。 ・10%が適正かどうかは難しいが、他の自治体の中には30%削減を掲げているところもあるので、それに比べると健全な財政状態といえる。 ・一般的には、よく、一人当たりの延床面積と人口密度は負の相関関係があるといわれるが、実際は都市の形によって様々なケースがある。 ・単独の建替えて延床面積を削減するのは難しいが、複合化の場合は、入り口や廊下を共有できるので、削減効果は出しやすい。一方で、基準があるから、面積を増やさないと建物を建てられないこともある。 ・資料4のカルテに「削減面積」の欄があるが、10%の削減目標はグロスでの目標だと思ふ。削減面積、削減率を個別に議論しだすと視野が狭くなってしまわないか。例えば図書館をもっと充実させたい、高齢者施設を充実させたいなど市として目指すべきものについては増やしてもいい。 →事務局) 削減率について、個々に載せていくべきか、それともまとめて書くべきか、検討する。
2	再配置計画の構成案(たたき台)について	<ul style="list-style-type: none"> ・フローの図の配色は統一してほしい。 ・なぜ市役所や消防署は劣化度も高く優先度も高いのに「維持」で、なぜコミュニティセンターの方が先なのか、腑に落ちないところがある。 →事務局) 市役所や消防署も最優先で「維持」に取り組む。今回は再配置計画なので、短期で「再配置」を検討する施設として11施設を抽出したものである。 →委員) 今の説明で納得した。もう少し再配置を強調してはどうかと思う。 ・社会福祉協議会の事務局は屋根が陥没していて今にも潰れそうな状態である。心身障害者福祉センター及び母子福祉センターの別館と考えているが、どのような扱いとなるのか。今熊エリアの公共施設を再配置するのなら考慮すべき。 ・それぞれの施設は、根拠法があるはずなので、市がそこで展開するサービスはどの法律に基づいているのか、あるいは市独自のサービスなのか、基本的なところを明らかにしたほうがよい。 ・法律によって建築された建物は、それに縛られて融通が利かない面もある。誰が使っても良いはずなのに、制度上、子どものため、高齢者のため、というように縛りが生じて融通が利かない面もある。縦割り行政の悪いところ。 →事務局) 資料4では市の条例等を整理しているが、根拠法を含めて整理する。
3	対象施設の要件整理について	<ul style="list-style-type: none"> ・現状と課題のところ、ハードは客観的な分析が書かれており良いと思ったが、ソフトのところはもう少し市民の肌感覚的な評価を入れてほしい。 ・もう少しいいところを探しができるのではないか。ネガティブではなく、良いところが伝わる方法はないのか。市民感覚、市民の使い方や市民の思いを書くことはできないのか。こういう機能があるから大事である、など。 →事務局) この部分は担当グループから、指定管理者等のヒアリングも踏まえて意見を出してもらったところであるが、再度確認する。

		委員からの主な発言等（一部、事務局の回答も）
4	再配置の進め方について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 記載イメージとのことだが、社会教育センターは2030年に解体（他施設と複合化）し、土地は有効活用を検討とあるが、跡地の活用について計画はあるのか。移転して残った建物の維持管理に費用がかかるようであれば、それも全体の中に入れて計画を立てる必要があるのではないかと。 →事務局）跡地については、他の公共施設で活用する可能性があるかどうかを検討している段階である。 ・ 市役所南館は1975年で築50年。公民館等の建替えと同時にできないのか。 ・ 今熊エリアの社会福祉協議会事務局だが、仮に南館に移転となった場合、移転した直後にまた建替えのために移転となると段取りが悪くみえる。 →事務局）全部一度に取り組みればよいが、職員のマンパワーや財源的な制約も踏まえると、規模も含め、複数を同時に動かしていくことは厳しい。 ・ 建替え中の建物の機能はどこかに移すのか。 →事務局）現時点での想定にはなるが、できるだけ既存施設を使っていきたい。 ・ 図書館は、最近では駅の近くにあると利用しやすい。先に図書館を建てて本を移動するなど、元の場所ではなく別の場所も含めて柔軟に考えてはどうか。 ・ 保育園も駅の近くがあれば、子どもさんを預けて仕事に行きやすい。
5	市民アンケートについて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民意見募集と市民アンケートの違いは何か。パブコメとは違うのか。 ・ 駅前の複合施設と今熊エリアの複合施設では質が違う気がする。Dエリアを優先的に進めたいのであれば、市の玄関口として駅前に複合施設をつくった福知山の事例はなじまないのではないかと。 ・ できればDエリアになった理由ももう少し書いた方がよいと思う。 ・ アンケート調査票は、読みやすさ、見やすさに配慮してもらいたい。地図などは色で分けるのが基本だが、誰もがわかりやすいよう、文字は黒にすべき。 ・ 施設にアンケートを置くのであれば施設の実態調査も兼ねてはどうか。その施設を利用している人はどこから来ているのか。年齢層や時間帯などを書いてもらおうと、それだけでその施設の実態がわかると思う。 →事務局）アクセス方法については設問を追加する。 ・ 3ページ、19「その他」の欄はもっと大きくできないか。 ・ 例えばさやま荘などでタウンミーティングをやっていただくことは可能か。 →事務局）市長と有識者を含めたパネルディスカッション形式を想定しているため、今回、各施設で行うのは難しいが、今後、事業化に向けては、説明会や講演会、ワークショップなどが必要と思っている。
6	学校園との関係について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校の説明をいただいたが、それについて私たちがどのように絡むのか、イメージしにくい。資料Bの27ページに取り組みの方針、建替え等の表があるが、これが再配置計画の学校園の章に入ってくるイメージなのか。 ・ あらためて学校は、公共施設の中では触りにくい存在だと感じた。再配置計画の中で章を分けたことで、別立ての構成にはできたものの、将来ビジョンを考えると、章の垣根はなくして考えていかなければならない。 ・ すべてをひとくくりにするのは難しい。時代が変われば状況が変わり、子どもの数も含めて変化があるので、将来的に見直していくことが大事だろう。 ・ この委員会が素晴らしいのは、立地適正化計画に関連する先生に副委員長に入ってもらい、教育委員会にも入ってもらっている。現時点では中途半端な部分があ

		っても、将来的には良い方向につながっていくのではないか。
--	--	------------------------------